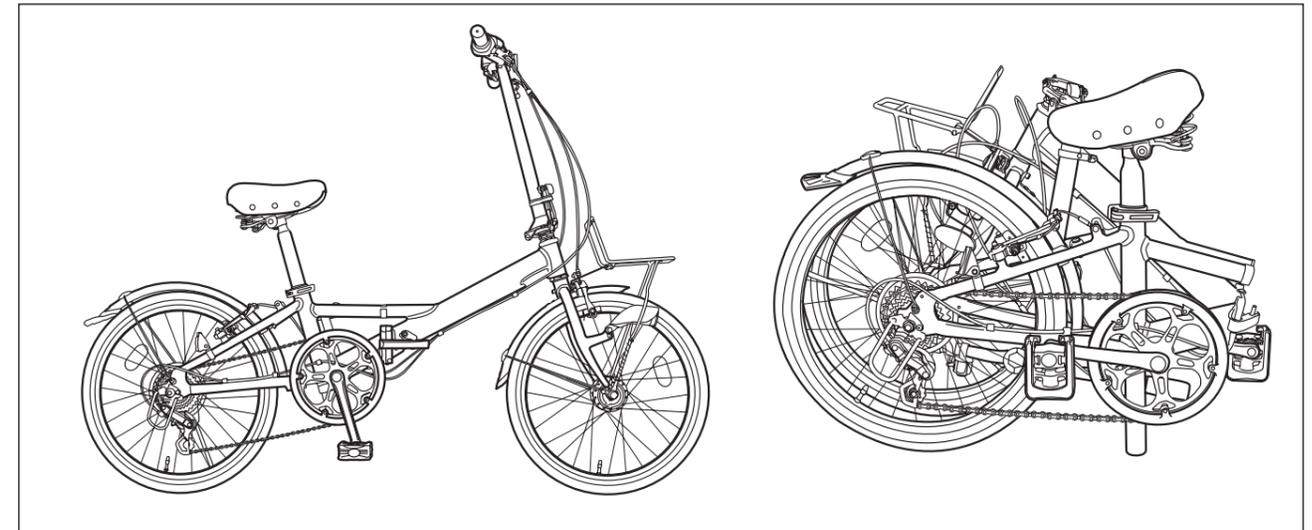


取扱説明書 折りたたみ自転車

品番 B-BH062

ビーンズハウス



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、当社の自転車をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡し願います。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

- この自転車を、新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。

お知らせ

- この自転車に幼児用座席を付けることはできません。

保証書別添付

- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの、記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
(記入がない場合は、無効となります。)
- 必ず、販売店で防犯登録をしてもらってください。
(法律で義務付けられています。)

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック サイクルテック株式会社(およびその関係会社)は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

東 北 地 区 (022) 382-7791	東 京・関 東 地 区 (0422) 34-4117
埼 群・新 潟 地 区 (0480) 93-8071	栃 木・茨 城 地 区 (0286) 52-5046
中 部・東 海 地 区 (0568) 72-6231	近 畿 地 区 (072) 975-4100
京 都・滋 賀 地 区 (075) 394-6691	中 国・四 国 地 区 (082) 870-7776
九 州・沖 縄 地 区 (092) 621-8811	

※受付時間 平日(土・日・祝日および年末年始等の連休を除く) 9:00～17:00

※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室(下記)におかけなおしください。また、Faxをご利用される場合も当社お客様相談室にお願いいたします。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室

Tel : (072) 977-1603

Fax : (072) 977-5611

受付時間 9:00～20:00

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

もくじ

乗るまえに

- 安全上のご注意 2
- 各部のなまえ 6
- 乗るまえの準備 (組立手順) 8
- 乗るまえの点検 12
- 乗るまえの調整 14
- 正しい取扱い方法 17

乗りかた

- 乗ったあとは... (折りたたみ手順) 21

必要なとき

- お手入れ/保管/廃棄 23
- 注油について 24
- オプション (別売部品) 25
- 定期点検 26
- 盗難補償とアフターサービス 27
- 仕様 28

安全上のご注意(1) 必ずお守りください

乗るまえに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

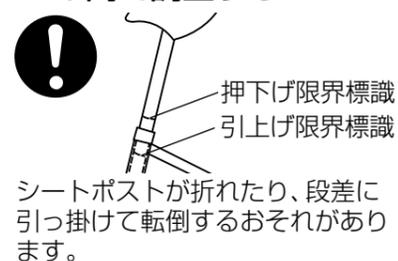
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために次のことを守りましょう！

警告

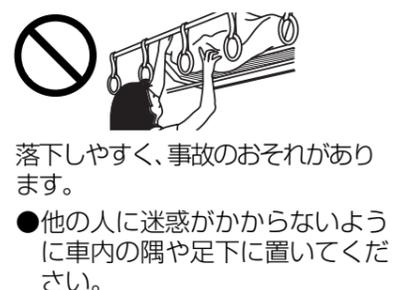
■サドル高さは、上と下にあるはめ合せ限界標識の間で調整する



■改造や分解、また指定以外の注油はしない



■網棚には載せない



公共の交通機関(列車、バス、地下鉄等)を利用される場合のお願い

- ① オプションの輪行バッグに収納してください。
- ② 交通機関の係員の指示に従ってください。
- ③ 他のお客様のじゃまにならないように気をつけてください。
- ④ できるだけ安定した床面においてください。
落下すると事故の原因になるので、網棚には載せないでください。
- ⑤ 自転車本体やオプションパーツについている警告マークや注意マークは、取り外さないでください。

乗るまえに

まず体に合わせてください

- 図のように販売店で調整してもらってください。
- 操作して確認してください。
 - ① 円滑なペダリングができる。
 - ② ブレーキや変速機が確実に操作できる。
 - ③ ハンドル操作が容易にできる。



必ず点検をしてください

- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



乗るまえに

正しい服装で乗ってください

- (車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
- チェーンやギヤがむきだしの自転車に乗るときは、必ずズボンのすそをズボンバンドで止めてください。
ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへのひっかかり等を防止するため。



乗る練習は必ず行ってください

- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
よく練習してから一般道路でお乗りください。



乗ったあとは

- 駐輪する時は、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。
- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

安全上のご注意 (2) 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、交通ルールを守りましょう

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意!

安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに!



開くドアや人の飛び出しに注意する



学校や公園が近くにあるときに!



子供の飛び出しに注意する



交差点を通るときに!



左折車に巻き込まれないように注意する



転倒事故を防ぐために

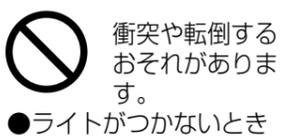
こんな時

■ 雨・風・雪のひどいときは乗らない



バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

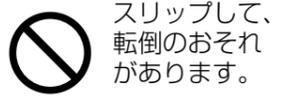
■ 夜間や視界の悪いときは、無灯火で乗らない



衝突や転倒するおそれがあります。
● ライトがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での乗車は、法律違反になります。

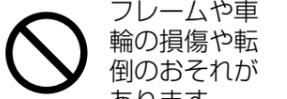
こんな場所

■ 滑りやすいところでは乗らない (積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



スリップして、転倒のおそれがあります。
● 降りて、押して歩いてください。

■ 凹凸の激しいところを走らない (歩道の段差や、溝など)



フレームや車輪の損傷や転倒のおそれがあります。
● 降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■ 巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない (長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



車輪やギヤに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■ 滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



ペダルから足が外れ、転倒のおそれがあります。

■ 合図以外は、ハンドルから手を離さない



バランスがとりにくく、転倒のおそれがあります。

■ 手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない



荷物やひもが、車輪に巻き込まれたりバランスを崩し、転倒のおそれがあります。

■ カーブで曲がる側のペダルを下げない



ペダルが地面と接触し、転倒のおそれがあります。

こんな使い方

■ 走行以外に使わない (踏み台代わりなど)



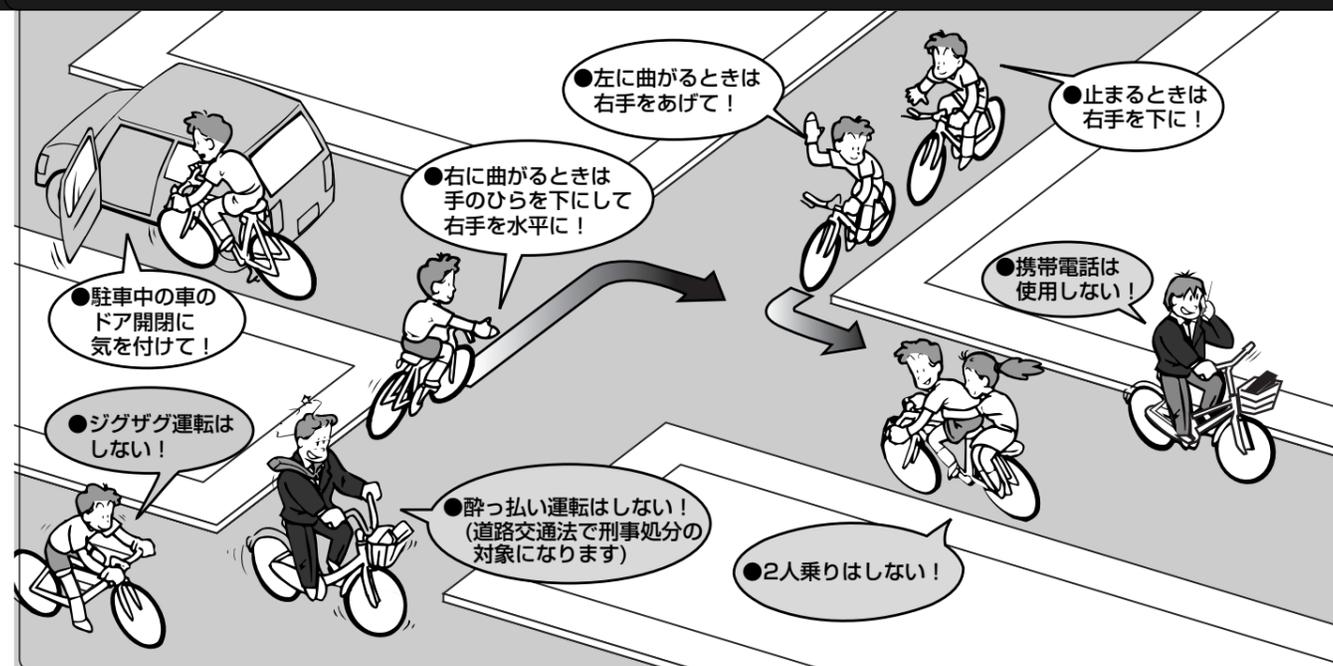
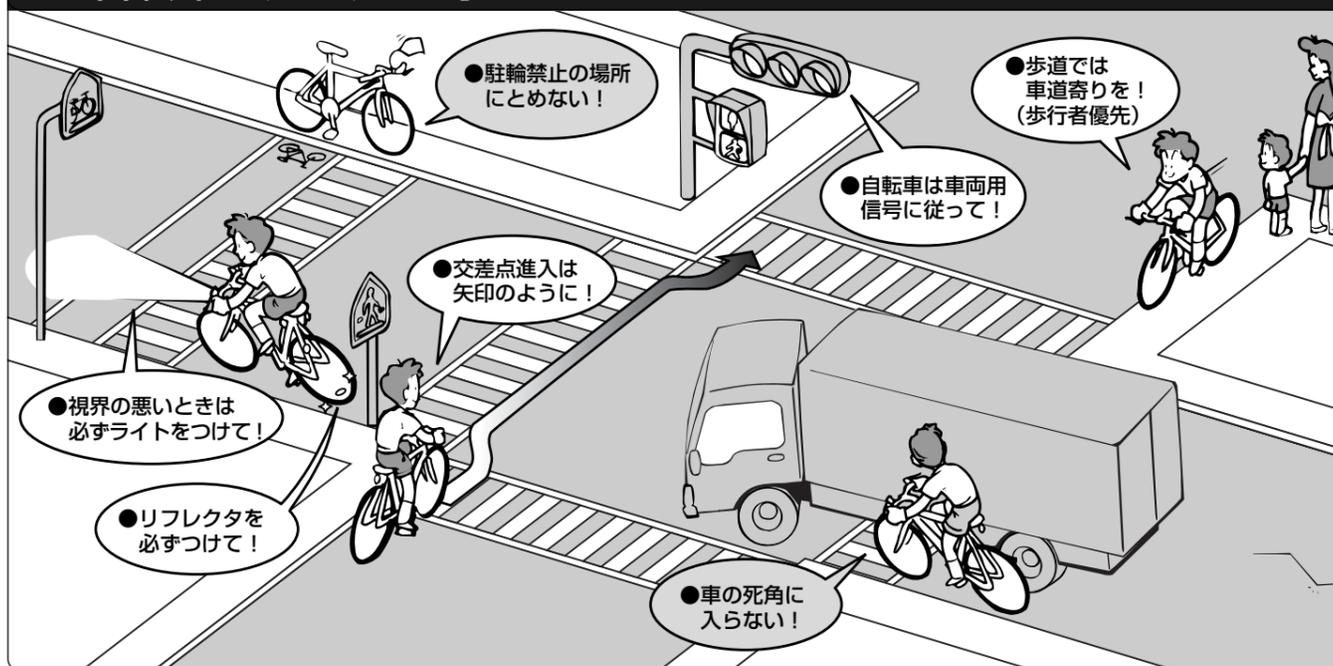
転倒するおそれがあります。

■ スポークの間に固形物 (ボールなど) を入れて走らない



車輪に巻き込まれて転倒のおそれがあります。

自転車で道を走る時のルール・マナー

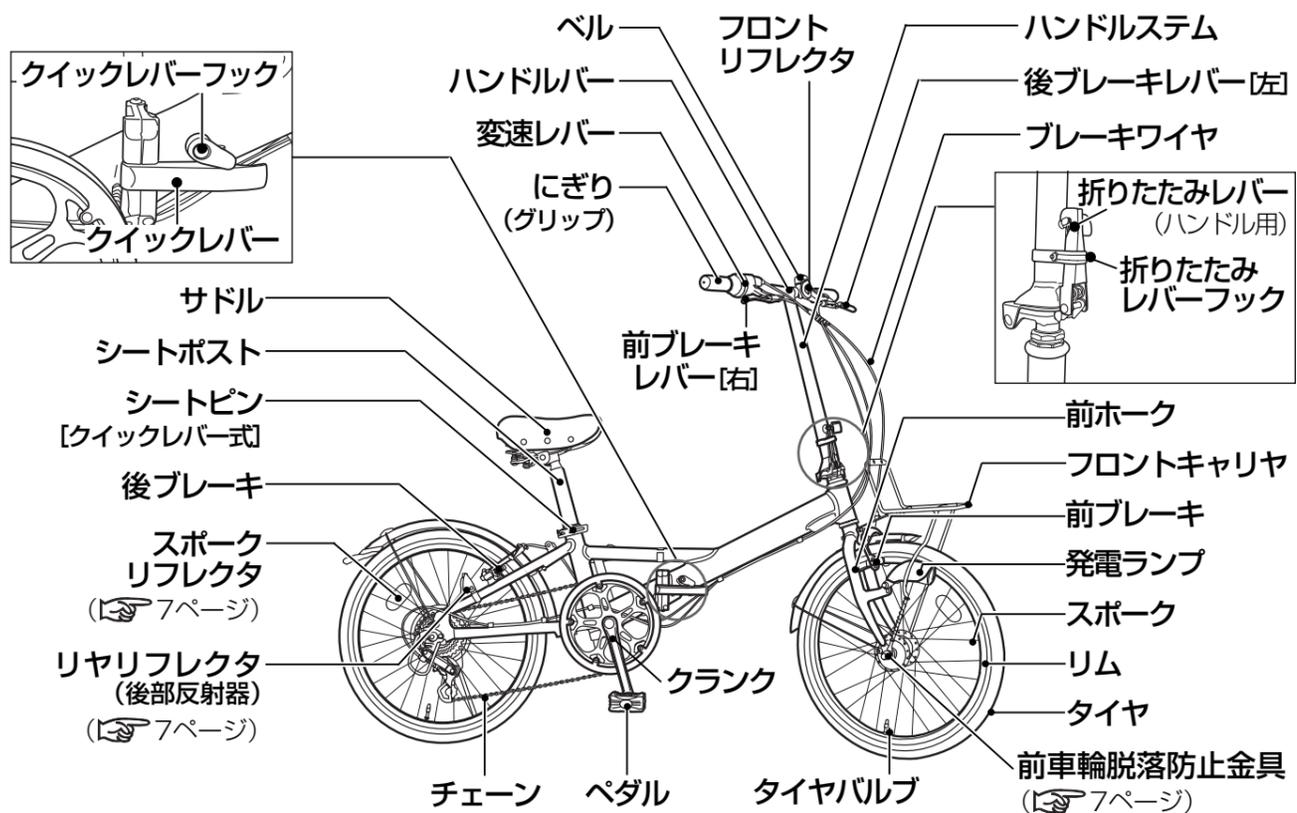


乗るまえに

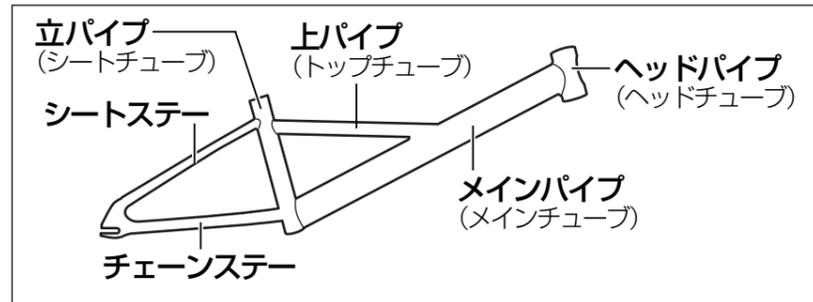
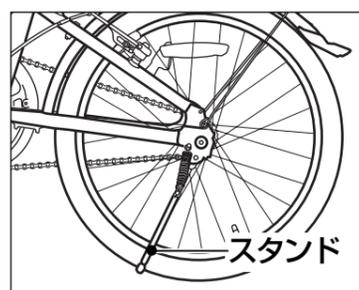
乗るまえに

各部のなまえ

乗るまえに



■ フレーム体



■ 付属品

警告

■ 走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない

スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒するおそれがあります。

ワイヤ錠 1本



キー番号プレートは、ワイヤ錠から外して、別の場所に保管しておくことをお勧めします。

締付けバンド 1本

お知らせ ● 忘れ防止のため、本書26ページにキー番号を控えておくことをお勧めします。

乗るまえに

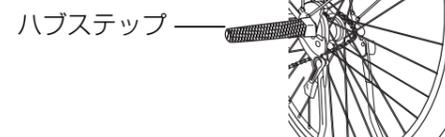
警告

■ ハブステップなどの突出物を装着しない

歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

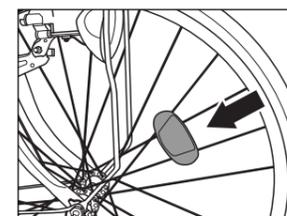
■ 安全装置は取り外さない

外したまま使用すると、事故発生の原因になります。



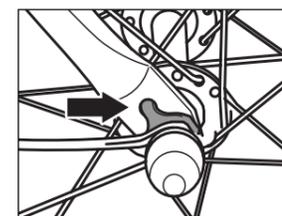
■ 安全装置

スポークリフレクタ



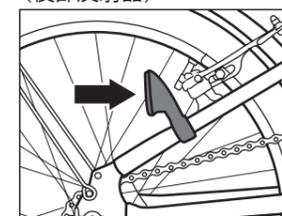
横からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



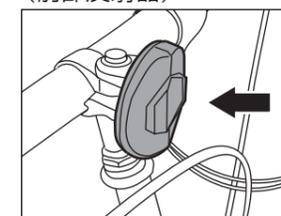
前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクタ(後部反射器)



後からの光を反射します

フロントリフレクタ(前部反射器)



前からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。

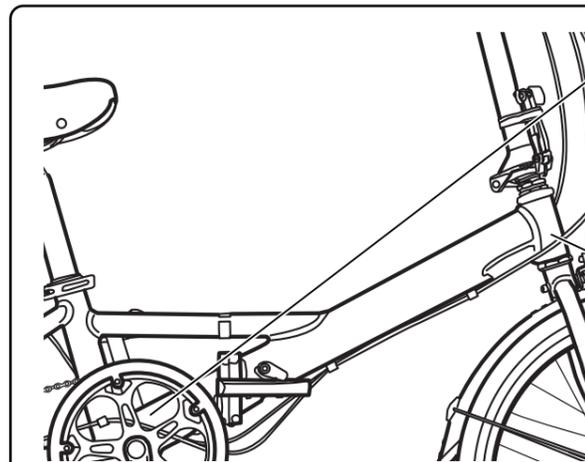
■ 車種品番表示

● 車種品番の見方

B-BH062 F
車種品番 色

■ 車体番号(刻印位置 右側)

防犯登録に必要で、9文字(数字と英字)で表示しています。



乗るまえに

乗るまえに

1. フレーム体を組立てる。

警告

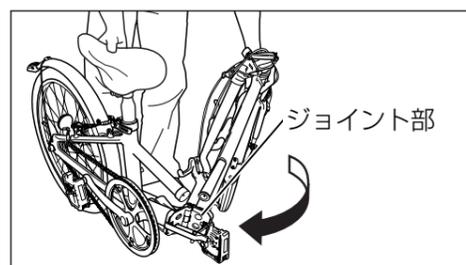
■メインパイプと上パイプのジョイント部分を持って開かない

指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

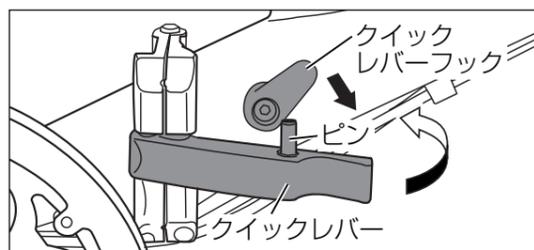
■クイックレバーフックを掛けて走行する

走行中に折りたたみ機構が開放し、転倒のおそれがあります。

① 締付けバンドを外し、二つ折りになっている自転車を開く。

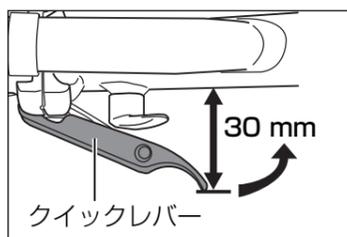


② クイックレバーを前側に押し倒し、クイックレバーフックを回転させ、クイックレバー上のピンに引っ掛ける。

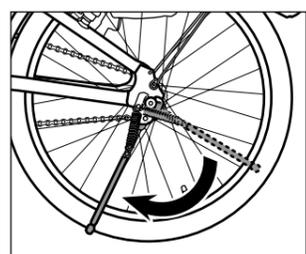


お願い

- クイックレバーフックの先端は、クイックレバーを閉じたときに当たらないように、クイックレバーの反対側に回しておいてください。
- クイックレバーの回転が、フレームと30 mmのすき間の位置にくるまでに、重くなったり、30mmの位置を超えても手ごたえがない場合は、販売店に調整をご依頼ください。



③ スタンドを立てる。



2. ハンドルを組立てる。

警告

■ジョイント部分を持ってハンドルを立てない

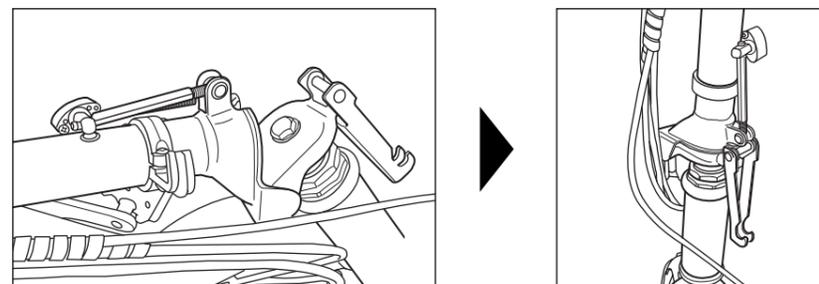
指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

■折りたたみレバーは折りたたみレバーフックを掛けて走行する

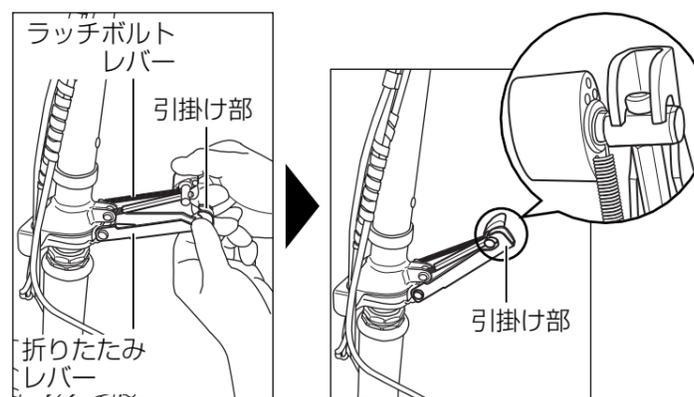
■折りたたみレバーの引掛け部にラッチボルトレバーがしっかりとハマっているか確認する

走行中、ハンドルが折れ曲がり、転倒のおそれがあります。

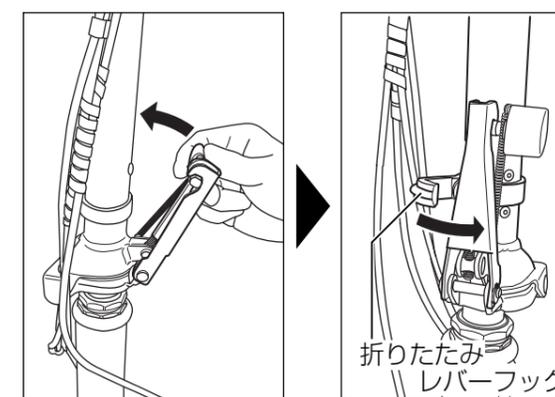
① ハンドルを立てる。



② 折りたたみレバーの引掛け部にラッチボルトレバーを引掛ける。

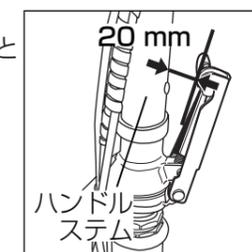


③ 折りたたみレバーは、確実に締めつけた後に折りたたみレバーフックをかける。



お願い

- 折りたたみレバーの回転がハンドルステムと20 mmのすき間の位置にくるまでに重くなったり、20 mmの位置を超えても手ごたえがない場合は、販売店に調整をご依頼ください。
- 折りたたみレバーを締める際には、折りたたみレバーフックの先端が折りたたみレバーと反対方向にあるようにしてください。
- 組立て後は、ハンドルが確実に固定され、がたつきがないことを確認してください。



お知らせ

- ハンドルの高さは調整できません。

乗るまえに

乗るまえに

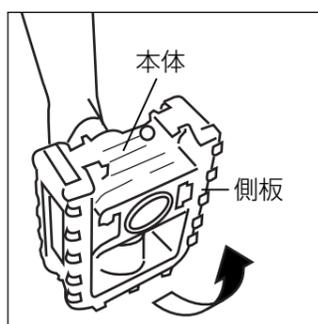
3. ペダルを組立てる。

警告

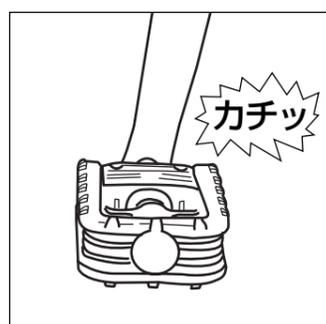
■側板と本体の間に指を入れない

指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

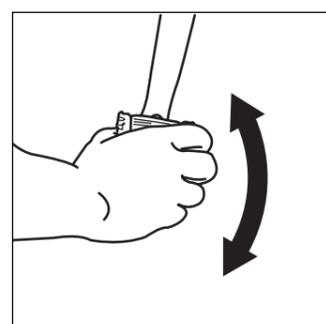
① 側板を水平に上げる。



② 側板を「カチッ」と音がするまで上にあげる。



③ 側板が上下に折れ曲がらないことを確認する。



4. シートピンの初期調整をする。

警告

■シートピンレバーは、前方向に確実に締める

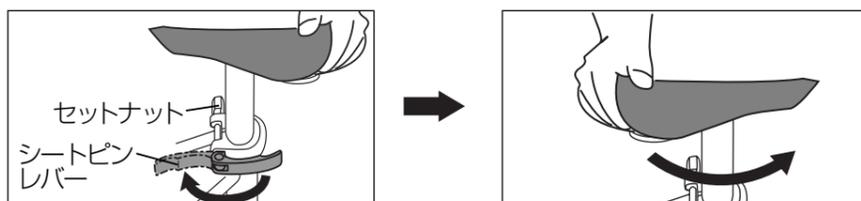
固定が外れ、転倒するおそれがあります。

注意

■シートピンレバーをゆるめるときは、サドルを支え持つ

サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

① サドルを支え持ちながらシートピンレバーをゆるめ、サドルを前方向に回転させる。



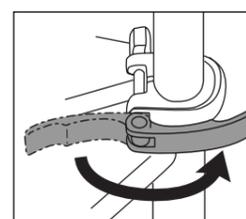
② セットナットを回転させ、固定の強さを調整する。

クイックシートピンでシートポストを固定するとき、シートピンレバーが、◎の位置でシートポストの固定がゆるい場合はシートピンレバーをいったんゆるめ、セットナットを1/2～1回転締め込み、再度シートピンレバーを◎の位置まで締込んでください。

お願い

●シートピンレバーを閉じるときの力は、シートピンレバーの先端を手のひらで力いっぱい押込んで閉じられるくらいが正常です。重すぎる場合や軽すぎる場合はセットナットで調整してください。

③ サドル前端が正しく進行方向を向く様保持しながら、シートピンレバーを回転させずに、開閉によって締めつける。



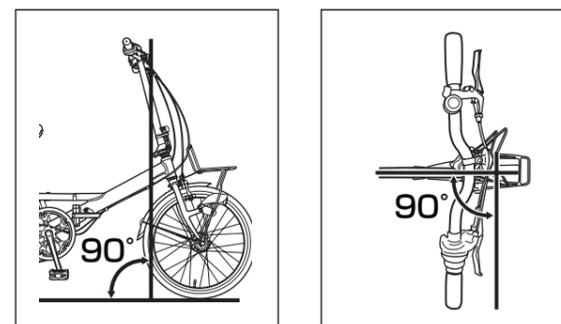
警告

■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する

シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

5. フロントリフレクタの角度調整

反射面が地面及び前車輪に対して直角になっているか確認してください。



お願い

●直角になっていない場合は、販売店に調整をご依頼ください。

乗るまえの点検

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつきの点検、調整を実施する習慣をつけましょう。点検、調整後は走行テストをしてください。

乗るまえに

乗るまえに

警告

ひび割れや変形したままで走行しない



折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

サドルの高さ

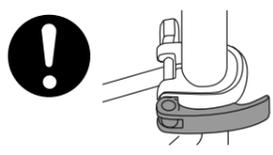
警告

上と下にあるはめ合せ限界標識の間で、調整する



シートポストが折れたり、段差に引っ掛けて、転倒するおそれがあります。

シートピンレバーは、前方向に確実に締める



- 上の押下げ限界標識が見えているか？
- 下の引上げ限界標識が見えていないか？
- シートポストの固定は確実か？
- サドルに座って、両足が地面につくか？
- ペダルをこぐとき、ひざがハンドルに当たらないか？

警告

乗るまえの点検は、必ず実施する。

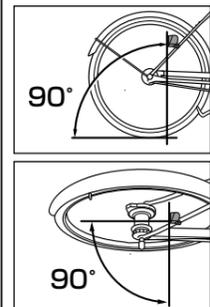
- 前後ブレーキの効き、作動の点検をする。
 - 前後車輪が、確実に固定されているか点検する。
 - 前後タイヤの空気圧が適正か点検する。
 - ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検する。
- 事故や転倒のおそれがあります。

点検で異常があったときは、乗車しない

- 事故や転倒のおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談ください。

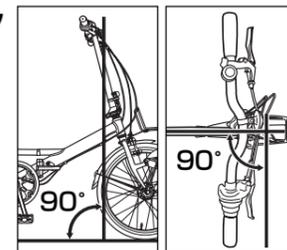
リアリフレクタ

- 割れや、汚れはないか？
- 後からの光を反射する角度になっているか？



フロントリフレクタ

- 割れや、汚れはないか？
- 前からの光を反射する角度になっているか？



- ベル**
 - よく鳴るか？
- フロントリフレクタ**
 - 割れや、汚れはないか？
 - 前からの光を反射する角度になっているか？
- にぎり (左右とも)**
 - ひび割れはないか？
 - 抜けはないか？
- 前・後ブレーキレバー**
 - よく効くか？
 - ワイヤのさびやほつれはないか？
 - ・固定は確実か？
 - ・作動は円滑か？
- ハンドル・ハンドルステム**
 - 固定は確実か？
 - ハンドルの高さ調整はできません。
- スポークリフレクタ**
 - 割れやがたつきは、ないか？
- 発電ランプ**
 - 点灯するか？
 - がたつきはないか？
- 前ブレーキ (ブレーキブロック)**
 - すりへっていないか？
 - 異物は付いていないか？
- ハブナット**
 - 車輪にがたつきは、ないか？
- チェーン**
 - 空回りしないか？
 - 小石等が挟まっていないか？
 - 歯飛びや異音 (バリバリ音等) はないか？
- 後ブレーキ (ブレーキブロック)**
 - すりへっていないか？
- クランク**
 - がたつきは、ないか？
- ペダル**
 - 側板の固定は、確実か？
- ジョイント部の固定**
 - がたつきはないか？
 - クイックレバーは、クイックレバーフックに引っ掛かっているか？
- ハンドル折たたみ部の固定**
 - がたつきは、ないか？
 - 折りたたみレバーフックが折りたたみレバーに引っ掛かっているか？
- 車輪 (前後とも)**
 - リム……振れ、変形はないか？
 - スポーク……曲がり、折れはないか？
 - ハブ……がたつきはないか？
 - タイヤ……摩耗、切傷はないか？
 - 異物は付いていないか？
 - 空気圧は適正か？ (16ページ)

乗るまえの調整 (1)

わからないときは、販売店にご相談ください。

乗るまえに

乗るまえに

■ サドルの調整

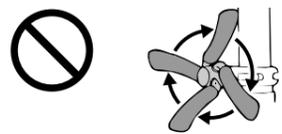
⚠ 警告

■ 上と下にあるはめ合せ限界標識の間で、調整する



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

■ シートピンレバーを回転させて締めつけない

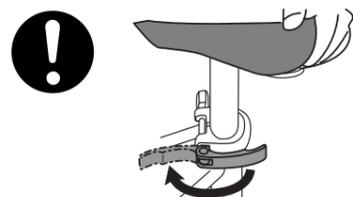


■ 調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する



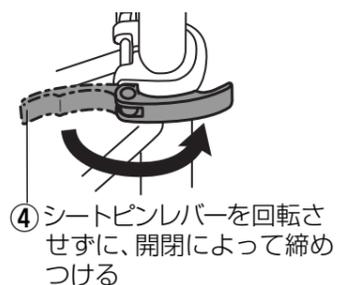
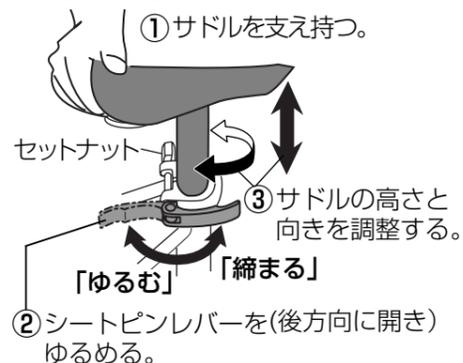
⚠ 注意

■ シートピンレバーをゆるめるときは、サドルを支え持つ

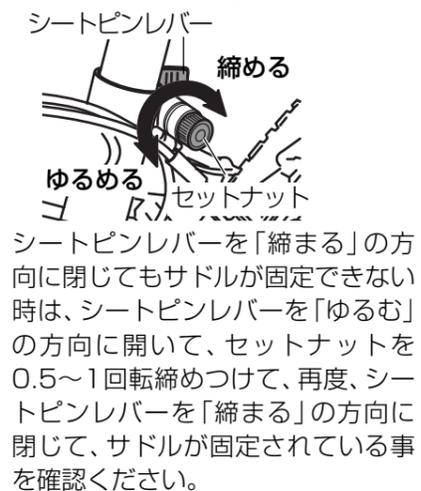


サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

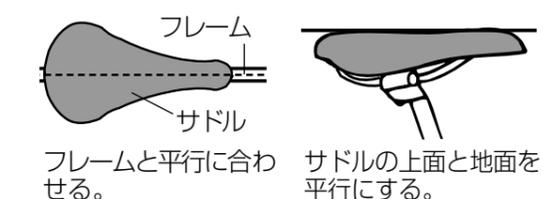
● 高さとの調整



● シートピンの調整



● サドルの正しい方向と角度



お知らせ

● セットナットが締まりにくい場合は、一旦シートポストを抜くと、軽い力で調節できます。

お願い

● サドル角度の調整は販売店にご相談ください。

■ ブレーキの調整

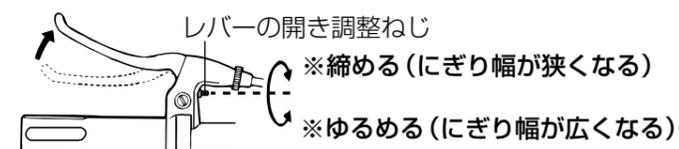
⚠ 警告

■ ロックナットは確実に締めつける



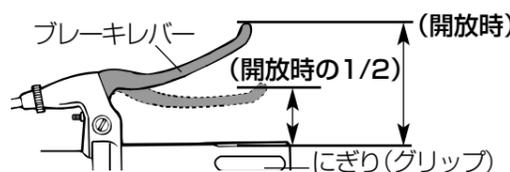
● ブレーキレバーの開き調整

手のにぎり幅に合うように、調整ねじを回して調整してください。



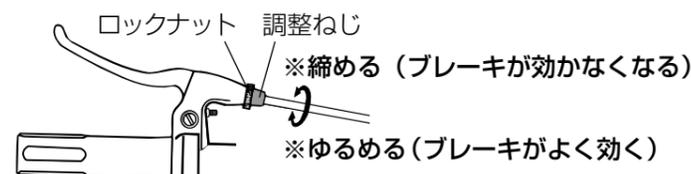
● ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の1/2の位置で、ブレーキが効くように、調整する



● ブレーキの調整

ブレーキをかけてよく効かない場合には、ロックナットをゆるめて、調整ねじで調整した後、ロックナットを必ずもとどおり確実に締めつけてください。それでも効かない場合は、販売店で調整を依頼してください。



● 前ブレーキ

- ① ロックナットをゆるめる。
- ② 調整ねじを回す。
- ③ 走行してブレーキの効きを確認する。
- ④ 調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締めつける。

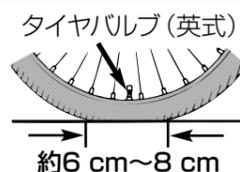


乗るまえの調整 (2)

■ 空気圧の調整 (前後のタイヤ)

● 適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約6 cm~8 cm程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
300 kPa~450 kPa {3.0 kgf/cm²~4.5 kgf/cm²} が適正です。



ご注意

- 空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
- 長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、英式です。
- 本書20ページの「タイヤについて」もご覧ください。

お願い

- 上記の空気圧は体重65 kg程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。体重の重い方は通常より高い空気圧400 kPa~500 kPa {4.0 kgf/cm²~5.0 kgf/cm²} にて使用してください。

● 空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

正しい取扱い方法 (1)

■ ハブダイナモ式発電ランプの取扱い (コンパクトLEDビーム)

警告

■ ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

- スポークに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。
- 乗る前に点検してください。

■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

- 衝突や転倒するおそれがあります。
- ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での乗車は、法律違反になります。

● コンパクトLEDビームの特長

発電機が車輪に組み込まれているハブダイナモ式発電ランプで、ハイパワーLEDと非球面レンズを搭載しています。
センサーが周囲の明るさを感知して自動的に点灯し、消灯します。
押し歩き時は、フラッシング照射 (点滅) します。



非球面レンズ

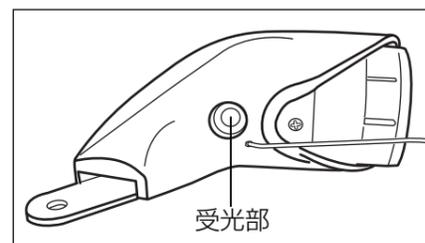
お知らせ

- 内部のLEDは交換できません。

お願い

- レンズを回したり、取り外しをしないでください。本体が壊れる原因になります。

● 点灯確認のしかた (ON/OFFスイッチはありません)



受光部 (本体下部) に光が入らないように黒い紙等でふさいでから前車輪を回転させて、点灯することを確認してください。
確認後は、受光部をふさいでいた黒い紙等を外してください。

お願い

- 受光部が汚れたときは、柔らかい布でふき取ってください。受光部が汚れていると、センサーが誤作動を起こす場合があります。

警告

■ 点灯確認のとき指で受光部をふさがない

- 前車輪が回転しているときスポークに指が巻きこまれ、けがのおそれがあります。

正しい取扱い方法 (2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ 変速のしかた

⚠ 警告

■ スピードをだしすぎない

標準常用速度 10 km/h ~ 15 km/h
衝突や転倒による事故の原因になります。

■ 一度に2段以上変速しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒するおそれがあります。
● 1段ずつ変速してください。

■ 漕ぐ力を抜いて、ペダルを空転気味に軽く回転させながら変速操作をする

間違った変速操作をすると事故や故障の原因になります。
● 初めて変速機を使われる人は、よく練習してください。

■ 次のような変速はしない

- ペダルを止めたままの変速
- 一気に2段以上の変速
- 停止しているときの変速
- ペダルを逆転させながらの変速
- ペダルを強く踏みこみながらの変速
- グリップを無理に回転させる変速

事故や故障の原因になります。

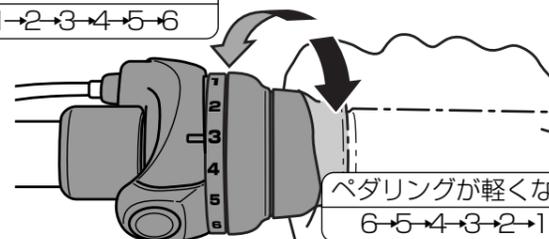
お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- シフトグリップを無理に回転させる変速はしないでください。(変速機を傷める原因になります。)
- スムーズに変速ができるか確認し、調子が悪いときはお近くの自転車店にご相談ください。

● シフトグリップ表示とギヤの位置

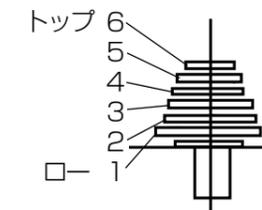
● 右グリップ (後変速機 / 6段)

ペダリングが重くなる
1→2→3→4→5→6



ペダリングが軽くなる
6→5→4→3→2→1

● 後ギヤ (後変速機 / 6段)



ペダリングが重くなる
1→2→3→4→5→6

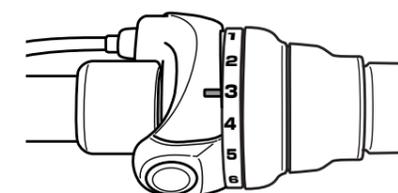
下り坂・追い風
上り坂・向い風

ペダリングが軽くなる
6→5→4→3→2→1

平地を走るとき



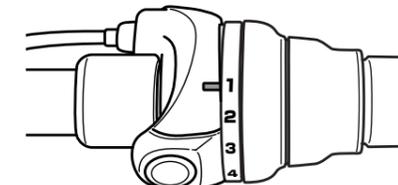
3または4 の位置にあわせる。



上り坂のとき



坂の手前で...
1または2 の位置にあわせる。

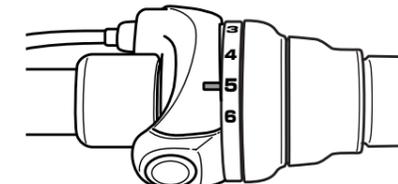


● 急な坂道のとき
⇒ 降りて押す。

下り坂のとき



坂の手前で...
5または6 の位置にあわせる。

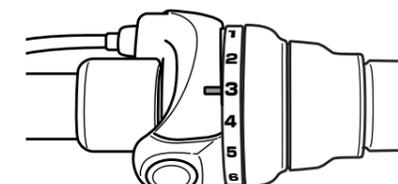


● 急な坂道のとき
⇒ 降りて押す。

停止するとき



停止する手前で...
3または4 の位置にあわせる。



次の発進が楽になります。
● 後ブレーキを先にかける。

● 駐輪禁止の場所には駐輪しない。

● 変速機は、坂や風の状態、体調等によって変速し、最適の位置を選んでください。

乗るまえに

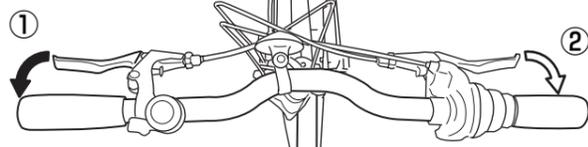
乗るまえに

乗るまえに

ブレーキのかけかた

●ブレーキのかけ方

- ①後ブレーキを先にかけてから
- ②前ブレーキをかける。



お願い

- 急な坂道のときは、降りて押ししてください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行してください。
- 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒するおそれがあります。

フロントキャリヤの取扱い

警告

■直接荷物を積まない

- 不安定でバランスを崩し、転倒するおそれがあります。
- 当社純正オプションバスケットを装着してください。

タイヤについて

警告

■走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検する

- パンクによる転倒の原因になります。

お願い

- ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。
- 上記の空気圧は体重65 kg程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。体重の重い方は通常より高い空気圧400 kPa~500 kPa {4.0 kgf/cm²~5.0 kgf/cm²} にて使用してください。

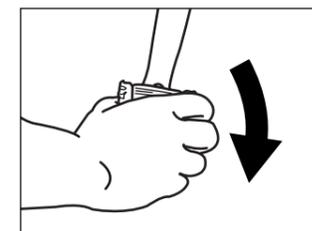
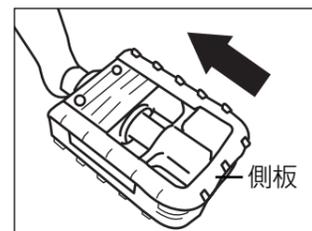
注意

■タイヤの空気圧は300kPa {3.0kgf/cm²} 以下では使用しない

- タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

1. ペダルを折りたたむ。

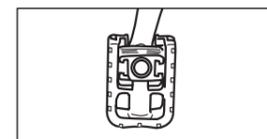
- ①側板の外側を持って、本体に押し付ける。
- ②側板を押し付けながら、下方方向に側板を下げる。



注意

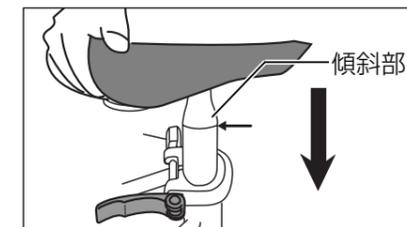
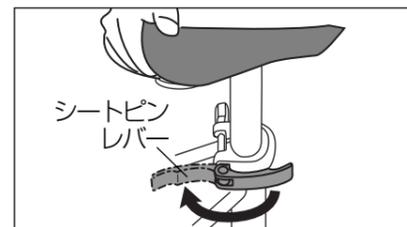
■側板の外側を持って作業する

- 手や指をはさむおそれがあります。



2. サドルを下げる。

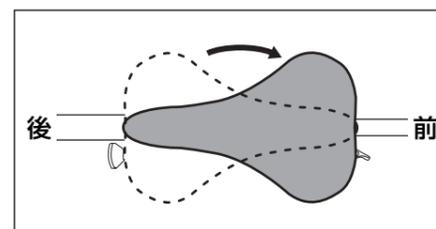
- ①サドルを支え持ちながらシートピンレバーをゆるめる。
- ②サドルをシートポストの傾斜部が立パイプにかかる所まで下げる。



お願い

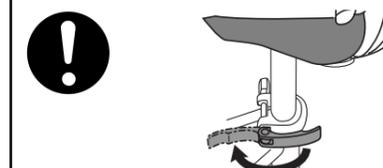
- シートポストの先端が、折りたたみ後の接地部となりますので、傾斜部が立パイプにかかる所まで、下げてください。

- ③サドルを後方に回転させ、シートピンレバーを回転させずに開閉によって締めつける。



注意

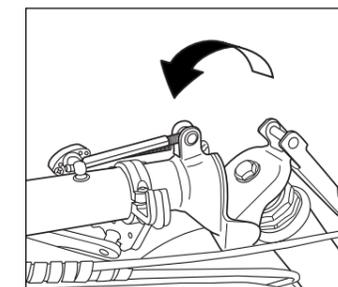
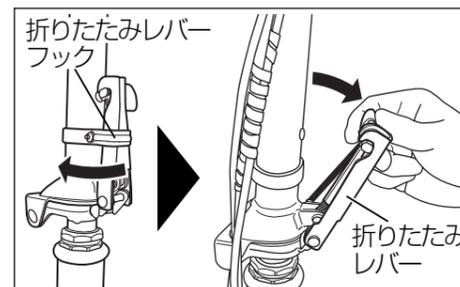
■シートピンレバーをゆるめるときは、サドルを支え持つ



サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

3. ハンドルを折りたたむ。

- ①ハンドルを手で支えながら折りたたみレバーフックを外し、折りたたみレバーを矢印方向に開放する。
- ②ハンドルを折りたたむ。



注意

■ハンドルを折りたたむときは、ハンドルを支え持つ。

- ハンドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

乗りかた

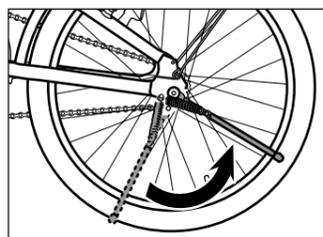
4. フレームを折りたたむ。

警告

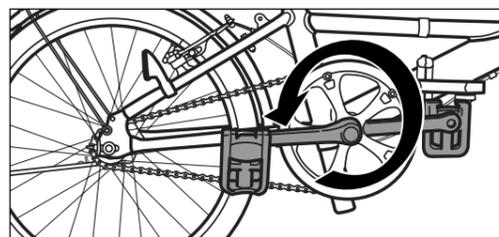
■メインパイプと上パイプのジョイント部分を持って閉じない

指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

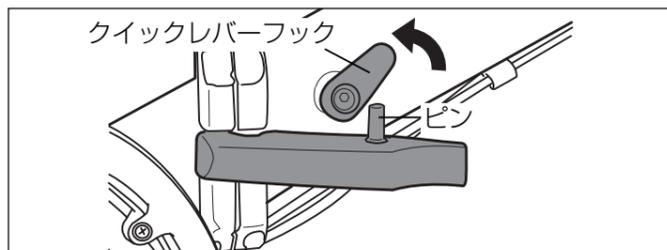
① スタンドを上げる。



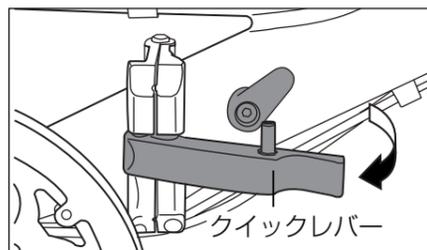
② 右側のペダルが後方になるように、ギヤクランクを回転する。



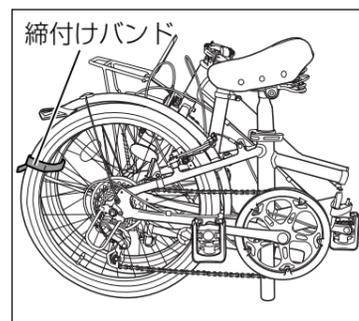
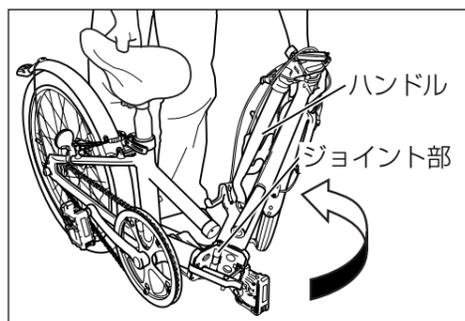
③ クイックレバーフックをクイックレバーと反対方向に回転させ、ピンより外します。



④ クイックレバーを後方に回転させる。



⑤ ハンドルが内側になるようにして、自転車の前半分を反時計方向に回転させて折りたたみ、前後の車輪とハンドルを付属の締付けバンド(1本)で結束する。



お願い

- 前後の車輪が平行になるように、結束してください。
- 折りたたんだ状態での持ち運びは、自転車を両手でしっかり持ち、周囲の人、物に十分注意して行ってください。

お手入れ

■ 日常のお手入れは、

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- がっこな汚れには、台所用洗剤(中性)を薄めてご使用ください。



■ 汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。注油禁止場所には注油しないでください。(24 ページ)

■ 塗装部(フレーム体など)

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■ めっき部(ハブなど)

乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■ 樹脂部(ペダルなど)

乾いた布でほこりをふき取ってください。

■ 湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ アルミリム使用車

雨天走行後は、前・後リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。(黒く変色するのを防ぎます。)

お願い

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。)
- サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、すべります。)

お知らせ

- 軽合金(アルミ)リムに、ブレーキブロックのゴムが付着する場合がありますが、性能には影響ありません。

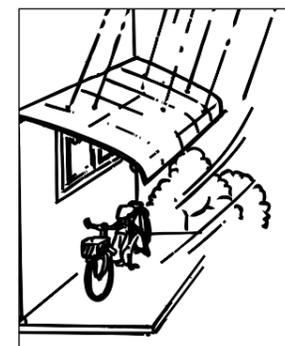
保管／廃棄

■ 保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管してください。
雨がかかる場所では、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

■ 廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。



必要なとき

注 油

警告

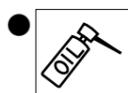
■リムやブレーキブロック(ゴム部)には、油をつけない

ブレーキが効かなくなり、転倒のおそれがあります。



注油禁止

お知らせ



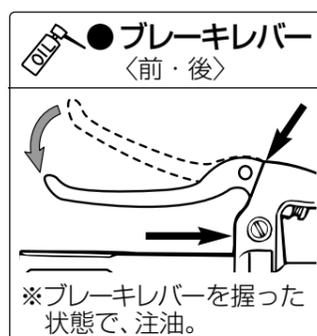
このマークは、注油場所を示します。



このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

- 油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
- 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



注油禁止

後ブレーキ (ブレーキブロック)



スタンドの内側のカシメ部分に注油。(ロック機能に支障をきたすのを防ぎます。)



注油禁止

前ブレーキ (ブレーキブロック)



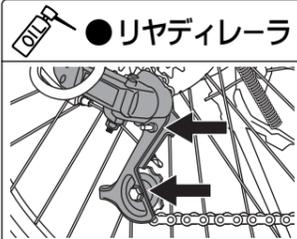
注油禁止

リム<前・後>

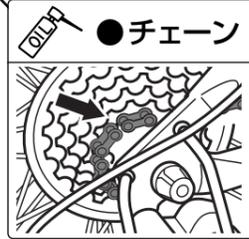


注油禁止

タイヤ<前・後> ついた油は、すぐふき取る。(ひび割れなど老化を防ぎます。)



可動部とプーリーに注油。



クランクを回しながら注油し、余分な油は、ふき取る。(チェーンのさび防止と、ほこりがつきやすくなるのを防ぎます。)

取付けのポイント

- 安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。(当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。)
- オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に販売店にご確認ください。(掲載している品番は2007年7月現在のもので。)
- 形状や価格等詳細については、販売店でご相談ください。

リヤキャリア NCR1098 (CP)
NCR1132 (黒電着)

警告



積載条件から外れる荷物を積まない

- 高さ：15 cmまで
- 長さ：キャリア長さまで
- 幅：キャリア幅まで
- 重さ：5 kgまで(クラス表示10)

バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

バスケット NCB1664

警告

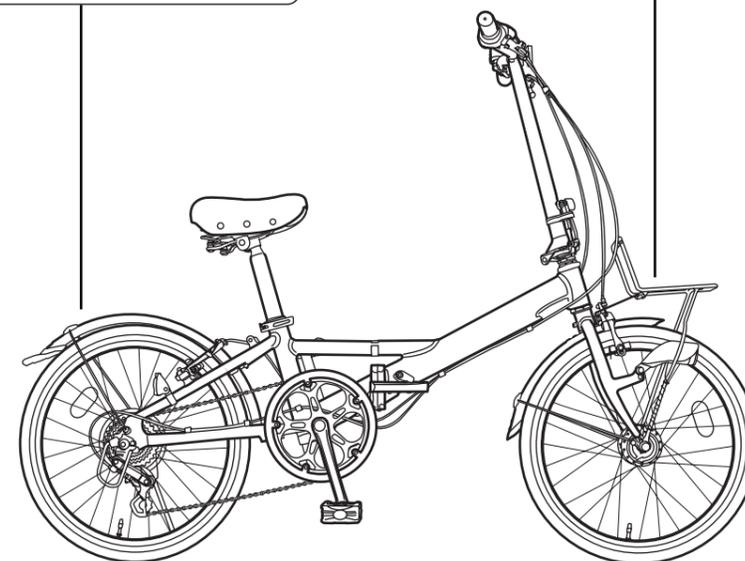


積載条件から外れる荷物を積まない

<バスケット積載条件>

- 大きさ：バスケットにおさまる大きさ
- 重さ：2 kgまで

バランスを崩し、転倒するおそれがあります。



輪行バッグ



NAR059

※オプションバスケット装着時は、輪行バッグにおさめることはできません。

定期点検

警告

定期点検は、必ず実施する

! 異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

部品の交換は、次の基準で実施する

- !** ●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。
- タイヤは、接地面(トレッド)の溝がなくなる前に交換する。
- ブレーキブロックは、溝の残りが、1mmになる前に交換する。
- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回(2ヵ月目)点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回(2ヵ月目)の点検と整備

お買い求め2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士(自転車組立整備士)、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●2回目以降(6ヵ月毎)の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検

定期点検をし、安全走行をしましょう!



こんな症状はありませんか

- 異常音がる
- がたつきやゆるみ
- 車輪の振れ
- ブレーキの効きが悪い

お願い

- 点検・整備は、お買い上げの販売店で行ってください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電 話 () -
品 番	車体番号
キー番号	防犯登録番号

盗難補償について

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より1年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格(税込)の60パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から1年間以内の自転車(別売部品等を含む装着部品の盗難は除く)かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限りです。

(2) 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの(警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等)に、盗難車の希望小売価格(税込)の60パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しします。

(3) 盗難補償できない場合

- イ. (2)の書類がそろわない場合
- ロ. 補償期間が過ぎている場合
- ハ. 盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
- ニ. 防犯登録がされていない場合
- ホ. 盗難車が見つかり、返ってきた場合
- ヘ. 景品などの贈呈品の場合

お知らせ

- 生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- 新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービスについて(修理を依頼される時)

●保証期間中は、

お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持ち込みください。

●保証期間が過ぎた後は、

お買い上げの販売店にご相談ください。

